(ТЩ/				1 /	70 T D	Į.	グナイロー	· ·	十八	20 +	0 7	21	口 IFIX
事務事業	■サービ	ス部門	都整	¥-13 国頃	見道対策	運営	主発						
No./名 称	口支 援	部門	파파		化进入水	生亡	1 7 10						
主管課	道路課			関連課道水路管理課、交通計画課、都市計						計画課	、再	開発課	
分野名	総合交通												
目標 (目標値)	都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成する。 データ区分 25年度 24年度 23年度 備 考												
	データロ	区分	25年度			24年度			23年度			考	
人口等のデータ	人			177,895人			177,224	4人	177,204人			年4月	
	世帯			80,295世帯			79,669‡	世帯	79,	217世帯	(1±	大 奉	本台帳)
	事業の対												
	決算値(-			1,169		1,180			1,215				
運営資源状況	(国・												
	(負担金	•											
	(一般財		1,169			1,180			1,215				
	人員配		1.0人			1.0人			1.0人				
	人件費(千円)	8,348			8,354			8,662				
	協働のパー	トナー	国土交通省、神奈川県			国土交通省、神奈川県			国土交通省、神奈川県				
	An all alls alls		東日本高速道路株式会社			東日本高速道路株式会社				東日本高速道路株式会社			
事務事業	総事業費(千円)		9,517			9,534			9,877				
運営経費	市民1人当りの経費(円)		53			54			56				
	対象者1人当り			1	ı		<u> </u>			1 1		<u> </u>	
ベンチマーク(県内	団体名⇒	>											
外自治体や民間団体													
との比較値)													
		=	左曲	00年	±		00左曲		0.4左连	05/5/5		目幼	左连/02左连\
1日 保		評価	年度	22年月	支		23年度		24年度	25年度		取於	年度(27年度)
			目標値										
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値										
由車業に今まれる小車業	の七向性(三個	即車業の	- 無西(十亩	≖ \									

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	(十円) H26予算額	A : उ	t実·拡大	B:現状継	続 C:改善・見直しD:統合縮小 E:廃止・休止
国県道対策運営事務	1,169	国県道対策運営事務	1,188	今後の 方向性	В	理田	国の事業である、横浜湘南道路整備事業や県の 事業である、大船立体整備事業等の事業推進に 向け、国・県と連携し事業の円滑な推進を図る。
				今後の 方向性		理由・手法	
				今後の 方向性		理由 ·手法	
				今後の 方向性		理由・手法	
				今後の 方向性		理由 ·手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	国事業の首都圏中央連絡自動車道の一部を形成する横浜湘南道路では、事業着手に向け土地所有者に土地の評価や補償率等についての説明を行ったが、 未だに合意を得られない住民がいる。											
課題解決のための取組	今後とも、事業主体である国と連携し、事業実施が円滑に行えるよう住民及び関係機関との調整を継続して行っていく。 取組の結果 ■未解決											
未解決の課題	横浜湘南道路に係る土地所有者は、所有する土地等の区分地上権の補償でなく、土地家屋の買取りを望んでいるものである。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		①効率性	0	②妥当性	0	③有効性	ŧ o	④公	平性 (
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	国・県との連絡調整及び住民と面談等調整を密に行い、国県道の持っている交通機能、ライフラインを収納する機能及び防災空間などの空間機能を住民に理解してもらい、国県道の機能整備を図る。 区: 改計 D: 統計 E: 廃」							売 直し ト		В		
				※口事	業完了							
評価者名						烙課排	担当課長	;	反巻 育	售馬		

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
視点	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
				(単位・千円)

						F 1 101	- Tre ton 1 Tre ton	w	(単位:千円)
小事業名			事業概要			①効率性	の評価】 評価= ②妥当性	⇒適切=〇、要 ③有効性	改善=△ ④公平性
			替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。国・県等 供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。	手が施工する都市 記	十画道路等に関す	0	0	0	0
				【個別事業	の証価】 証価	<u> </u> i⇒適切=〇、要	○		
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
国県道対策		1148	事務補助嘱託員報酬	1,029	1,028	0	0	0	0
運営事務	主	1148 1148	事務補助嘱託員費用弁償 消耗品費	44 22	42 19	0	0	0	0 0
	な個	1148	首都圈中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	40	40	0	0	0	0
	別事	1148	関東国道協会負担金	40	40	0	0	0	0
	業								
※□ 事業完了									
						【小事業	<u> </u> の評価】 評価=	<u> </u> ⇒適切=〇、要	改善=△
小事業名			事業概要			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値			i⇒適切=O、要	
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主								
	主な個								
	別事								
	業								
									
事業完了									
小事業名			事業概要					⇒適切=〇、要	
			,			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値			i⇒適切=O、要	
					1 3237 321 12	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主								
	主な個								
	別事								
	業								
※ □									
事業完了									
小事業名			事業概要					⇒適切=○、要	
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業 ①効率性	だの評価】評価 ②妥当性	i⇒適切=〇、要 ③有効性	②改善=△④公平性
						- CWI-LIE	EX3II	O HAJIE	- ATI
	主な								
	な個								
	別事								
	業								
									
事業完了						F I Mr		<u></u>	
小事業名			事業概要			①効率性	の評価】 評価= ②妥当性	⇒適切=〇、要 ③有効性	改善=△ ④公平性
						J.,, -12		_ 13731E	J Z , 12
						【個別本書	の証価し証価	i⇒適切=〇、要	5改姜一人
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	①効率性	を ②妥当性	③有効性	④公平性
	主な								
	個								
	別事								
	業								
									
事業完了								<u> </u>	